

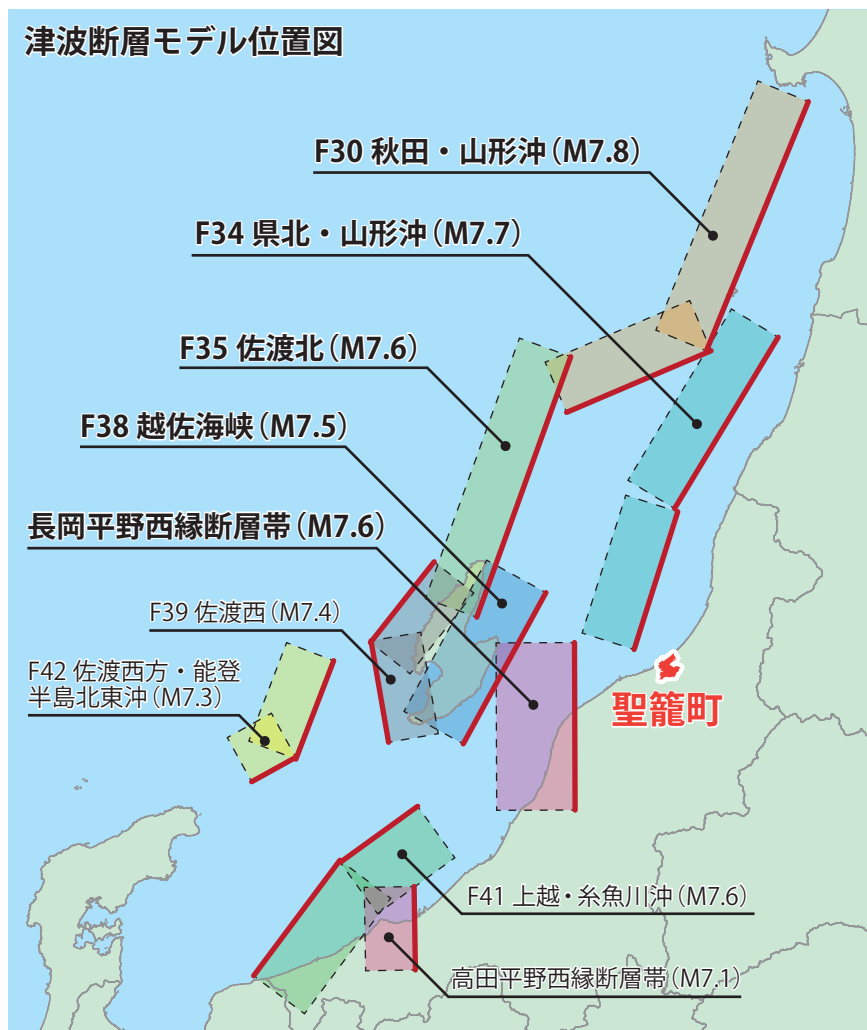
津波を引き起こす想定地震

津波ハザードマップに示す津波浸水想定は、平成 26 年 8 月に国が公表した新たな知見に基づく津波断層モデルを踏まえ、平成 29 年 11 月に新潟県が公表した浸水想定を示しています。

聖籠町管内の同区域は、令和 2 年 1 月に津波災害警戒区域に指定されました。

聖籠町への影響が大きいと想定される津波断層モデル

- F30 秋田・山形沖
- F34 県北・山形沖
- F35 佐渡北
- F38 越佐海峡
- 長岡平野西縁断層帯

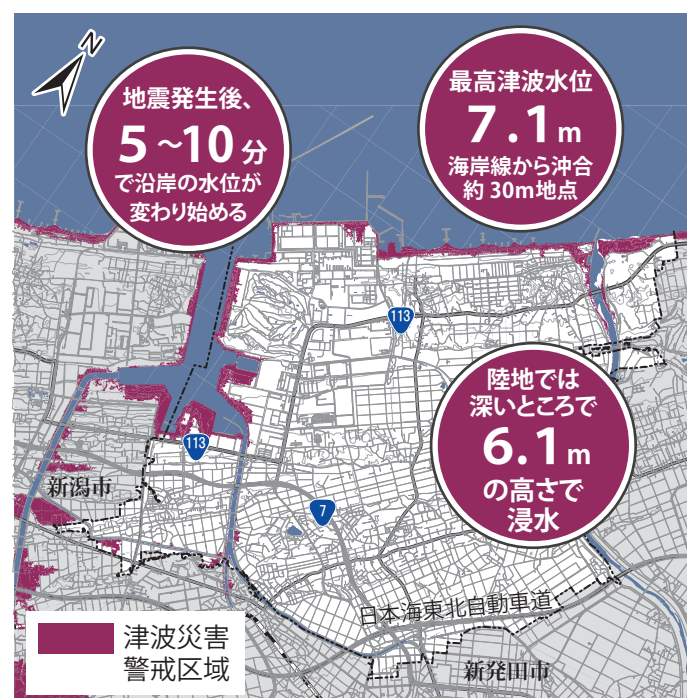


日本海東縁部で発生する地震が引き起こす津波

「日本海東縁部」では、大きな地震がたびたび発生し、それに伴い、津波も多く発生しています。

この地域では、陸地に近い海底で地震が起きるため、津波の陸地までの到達時間が短く、断層が浅いことから、津波が高くなりやすい特徴があります。

聖籠町の最高津波水位は、7.1m（海岸線から沖合約 30m 地点）、津波の影響で水位の変化（沿岸の水位が 20cm 以上上昇・低下）が始まるのは、地震発生から 5～10 分と想定されています。また、陸地では最大で 6.1m の浸水が想定されています。



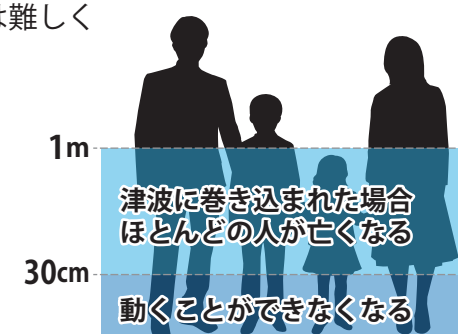
津波と通常の波との違い

津波は通常の波とは違い、その大きさに関わらず、大きな破壊力があります。



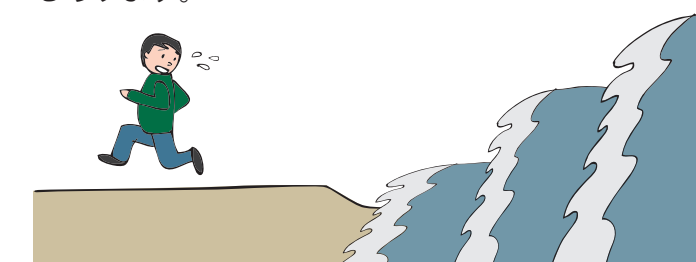
津波の高さ

津波の高さが 30cm でも、人は流されます。1m の津波に巻き込まれたら、命を守ることは難しくなります。



津波の注意点

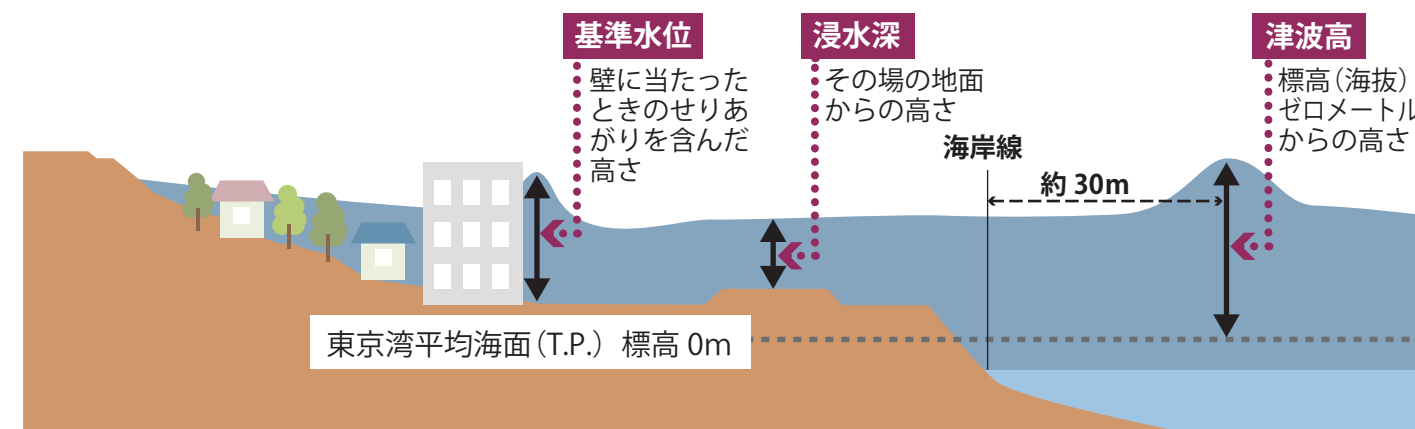
津波は繰り返しおそってきます。第 2 波、第 3 波の方が大きくなる可能性が高く、地震の起こり方や震源付近の地形によっては、引き潮が起らないこともあります。



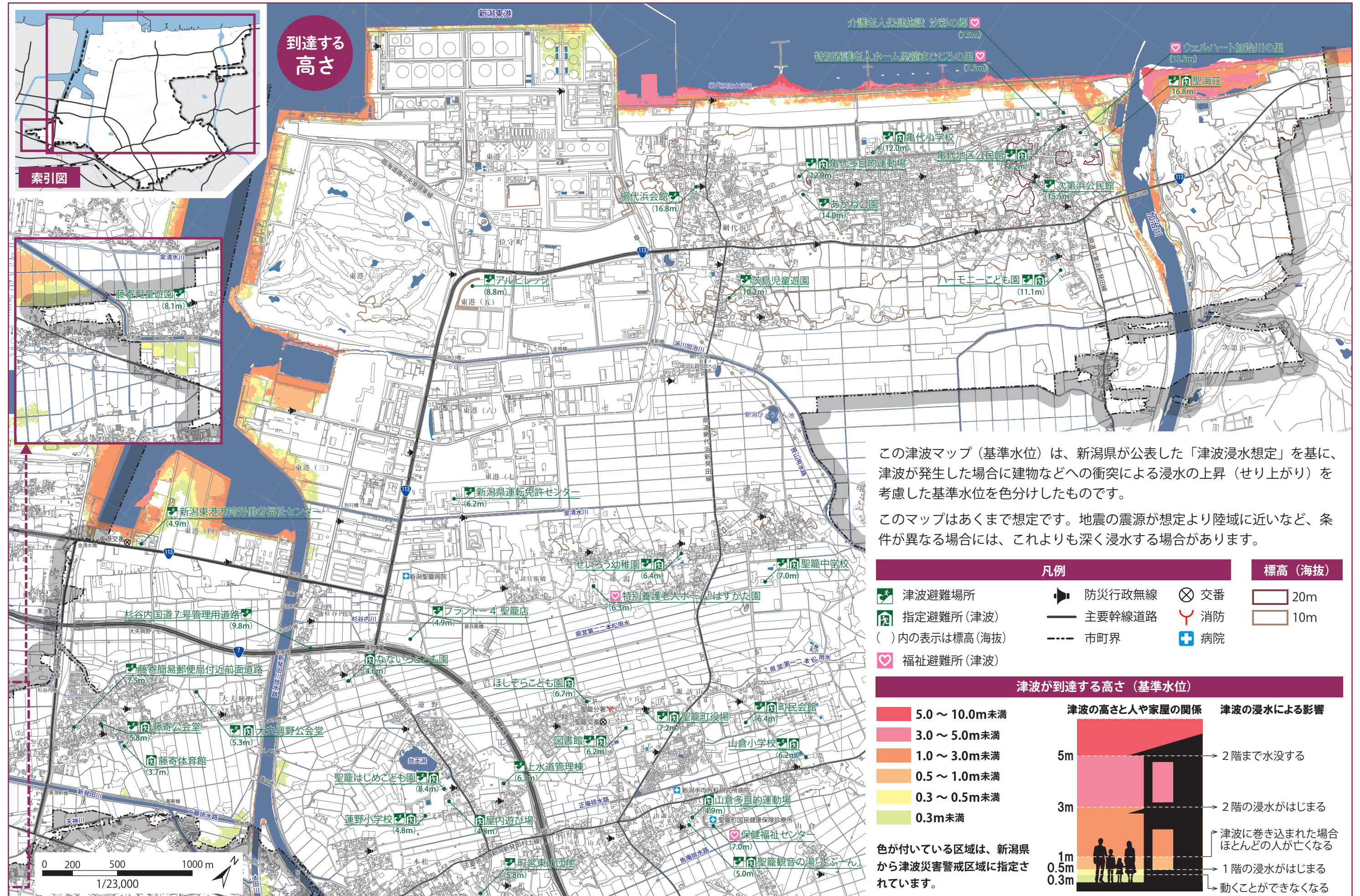
基準水位（せり上がり浸水深）

「津波高」と「津波浸水深」は異なります。「津波高」は沖合での海拔（標高）ゼロメートルからの高さで、「津波浸水深」は、地面から浸水面の高さです。

23～24 ページと津波大判マップ（基準水位）には、建物などへの衝突による浸水の上昇（せり上がり）を考慮した「基準水位」を表示しています。



津波を知る - 津波マップ（基準水位） -



あなたの自宅や海沿いのよく行く場所の
標高(海拔)と、津波のときどうなるかを確認しましょう。

自宅や海沿いのよく行く場所の標高(海拔)を

4 ページの **標高(海拔)マップ**

パソコンやスマートフォン
地理院地図
URL <https://maps.gsi.go.jp/>



で確認しましょう。

自宅や海沿いのよく行く場所が
津波のときどうなるかを

23 ~ 24 ページの **津波マップ**



津波大判マップ
(浸水開始時間・基準水位)

で確認しましょう。

海や川の近く、津波の浸水が
予想される場所にいる場合は… **早めの避難**

大きな揺れや長く続く揺れを感じたら、できるだけ早く
海や川から離れた高い場所へ！

津波の注意報や警報が出ている間は避難を続けましょう。
車は使わず、原則徒歩で避難しましょう。



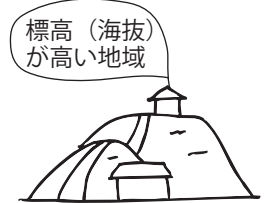
たとえばこんなところへ・・・

- ◎より高く、安全な場所
- ◎津波避難場所

標高(海拔)が高い
地域にいる場合は… **あわてずに対応**

津波マップで浸水が予想されていない場所にいると
きに、**大津波警報**などの津波情報が発表されたら、
あわてて別の場所に避難せず、**その場所にとどまる**
ことも有効です。

自宅などにとどまることが不
安な場合は、**自宅よりも高い
場所へ避難**しましょう。



津波情報が出たら、安全な場所へ避難

津波情報＝町の避難指示です！

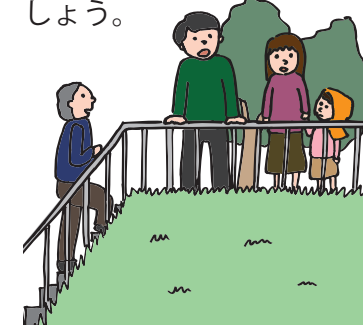
地震発生後、津波による災害の発生が予想される場合には、大津波警報、津波警報または津波注意報が発表されます。その後、「予想される津波の高さ」や「津波の到達予想時刻」などの情報が発表されます。

名称	予想される津波の高さ		とるべき行動
	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の表現	
大津波警報 (特別警報)	10m 超	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な場所へ避難してください。
	10m 5m<高さ≤10m		
	5m 3m<高さ≤5m		
津波警報	3m 1m<高さ≤3m	高い	ここなら安全と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！
津波注意報	1m 20cm≤高さ≤1m	(表記しない)	
			海の中にいる人は、ただちに海から上がり、海岸から離れてください。

津波情報が出ている
間は避難を続ける

津波は繰り返しておそってきます。

注意報や警報が出ている間は、自宅に戻ったり、海の様子を見に行ったりせず、安全な場所にとどまりましょう。



津波のおそれがある
ときは徒歩で避難

車で避難した場合、道路の揺れや液状化による被害で通行できなかったり、渋滞が発生することが考えられます。

原則、徒歩で避難しましょう。



津波や津波避難に関するマークなど



津波避難場所

津波の際に避難可能な避難場所や高台です。



**津波注意
(危険地域)**

地震が起きた場合、津波がおそう危険性が高い地域・箇所を表しています。



津波フラッグ

「津波フラッグ」は大津波警報、津波警報、津波注意報が発表された際に遊泳者などに避難を促す旗です。